

人を、想う力。街を、想う力。



Marunouchi

2010年4月5日

報道関係各位

三菱地所株式会社

「三菱一号館美術館」4月6日に開館

4月6日（火）午前10時、「三菱一号館美術館」が開館しますのでお知らせします。

当美術館は、近代東京の基点である丸の内の歴史と至便性に富んだ立地を踏まえ、19世紀の近代美術を中心とする多彩な企画展を年3～4回開催する予定です。第1回目の展覧会は開館記念展として4月6日（火）より7月25日（日）まで『マネとモダン・パリ』を開催します。

記

【運営概要】

- 住 所 東京都千代田区丸の内2-6-2（〒100-0005）
- 交通機関 東京メトロ千代田線「二重橋前」駅（1番出口）から徒歩3分
JR「東京」駅（丸の内南口）・JR「有楽町」駅（国際フォーラム口）から徒歩5分
- 開 館 日 2010年4月6日（火）
- 開館時間 [火・土・日・祝] 10時～18時、[水～金] 10時～20時
※最終入館は閉館30分前まで
- 休 館 日 毎週月曜（但し、祝日の場合は開館し翌日休館）、1月1日、展示替え期間
- 入 館 料 展覧会により異なる

以 上

<三菱一号館美術館の運営、企画に関するお問い合わせ先>

三菱地所株式会社 美術館室
電話：03-3287-7001

<丸の内再構築等に関するお問い合わせ先>

三菱地所株式会社 広報部
電話：03-3287-5200



(ご参考)

1. 開館記念展『マネとモダン・パリ』概要

エドゥアール・マネ（1832－1883）は、後に「印象派」となる画家たちだけでなく、後世の芸術家たちに決定的な影響を与えた、近代絵画史上最も重要な画家のひとりです。日本でもよく知られ、深く愛されている画家ですが、その作品を国内で見る機会は非常に限られています。

三菱一号館美術館の開館記念展となる本展は、マネの芸術の全貌を、当時のパリが都市として変貌していく様子と結びつけながら、代表的作品により展覧しようとするもので、マネの油彩、素描、版画 80 点余が出品されます。また、同時代の作家たちの油彩、建築素描、彫刻、写真など約 80 点もあわせて展示し、マネが生きたパリの芸術的な背景も紹介します。日本でマネの作品をまとまった形で見るができる貴重な機会です

会 期：2010年4月6日（火）から7月25日（日）

主 催：三菱一号館美術館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

共同企画：オルセー美術館

チケット情報：

	日時指定	当日
一般（大人）	1,500 円	1,500 円
高校・大学生	1,000 円	1,000 円
小・中学生	500 円	500 円

■日時指定券は、混雑時でも優先的に入場できるチケットです。

■日時指定券の販売期間：4月6日（火）～7月16日（金）

2. 三菱一号館美術館の主な活動

「三菱一号館美術館」は、建物と収蔵作品に呼応した19世紀近代美術を中心とする展覧会を通じて、街に多彩な美をもたらします。

(1) ミッション

- 街に開かれた美術館として、そこで働く人々、訪れる人々の利便性を重視し、「都市生活の中心としての美術館」という視点で運営を行います。
- 国内外の美術館や周辺の文化施設との連携・ネットワークを築きながら、長期的・国際的な視野での美術館活動を目指します。
- 明治期に原設計された建物と収蔵作品の特性に配慮し、近代市民社会・産業社会の原点ともいべき19世紀の近代美術を中心とした展覧会を開催します。
- 変貌する現代の美と歴史的美の系譜との結節点を求めて、学術的意義の深い展覧会を、新たな切り口で展開していきます。

(2) 活動方針

- 企画展の開催（年3～4回）
- 美術作品の収集、保存、公開、調査・研究

- 展覧会に関連したイベントの実施
- 近隣の美術館、社会教育機関との連携
- 美術鑑賞教育への協力、教育普及事業との連携

(3) 施設について

三菱一号館美術館は、展示室（20室、約800㎡）、「Café 1894」（約150㎡）、「Store 1894」（約50㎡）、「三菱一号館 歴史資料室」によって構成。展示室には、「作品の保護」と「快適な鑑賞」という2つの条件を満たすために、2種類の光源（ハロゲン及びCDM（※））を持つ最新の光ファイバー照明システムを採用。

（※）CDM・・・「Ceramic Discharge Metal halide lamp（セラミック放電灯）」の略称。ハロゲンとともに用いることで、展示物に熱負荷をかけずに高照度を維持することが可能。

3. 2011年までの展覧会（予定）

◆ 開館記念展〈I〉『マネとモダン・パリ』

会期：2010年4月6日（火）～7月25日（日）

◆ 開館記念展〈II〉『三菱が夢見た美術館－岩崎家と三菱ゆかりのコレクション』

会期：2010年8月24日（火）～11月3日（水・祝）

◆ レンバツハハウス・ミュンヘン市立美術館所蔵『カンディンスキーと青騎士』

会期：2010年11月23日（火・祝）～2011年2月6日（日）

◆ 『王妃の画家ヴィジェールブラン マリー・アントワネットと18世紀の女性画家たち』（仮称）

会期：2011年3月～5月

◆ 『ジャポニスムの立役者たち－欧米で愛された陶磁器・銀器・装飾品』（仮称）

会期：2011年6月～8月

◆ 『トゥールーズ＝ロートレック モーリス・ジョワイヤン・コレクション』（仮称）

会期：2011年9月～11月

4. 三菱一号館の復元について

旧三菱一号館は、イギリス人建築家ジョサイア・コンドルの設計により、1894年（明治27年）に竣工（1968年（昭和43年）解体）した、イギリス・ヴィクトリア時代のクイーン・アン・スタイルの赤煉瓦建物。三菱地所では、当時の設計図面や一部当初部材を保管していたため、専門家の助言を受けながら、可能な限り忠実に復元しました。

【三菱一号館概要】

延床面積：約6,000㎡（約1,800坪）

階数：地上3階、地下1階

構造：煉瓦組積造

工期：2007年2月～2009年4月

